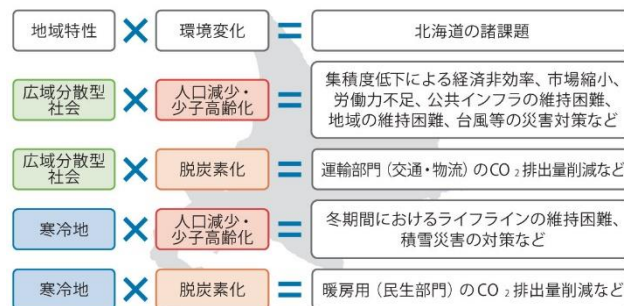


北海道電力(株) 総合研究所 研究グループ紹介 戦略統括グループ

電力システム改革や再生可能エネルギーの導入拡大、デジタル技術の飛躍的進化など電力業界は大きく変化しています。また、今後は人口減少や少子高齢化に伴う様々な地域課題が顕在化していくことも想定され、当社を取り巻く事業環境は、大きな転換点を迎えています。

戦略統括グループでは、再エネ・蓄電池・電気自動車等の需要家側エネルギーリソースと仮想発電所¹（VPP）技術を活用した次世代エネルギーシステムの構築の取組み、マクロ計量モデルを活用した北海道の経済予測やエネルギー需要予測等の社会経済的な研究等に取り組んでいます。また、北海道経済連合会等と連携し、北海道が持続的に発展していくための成長戦略等の検討も行っています。

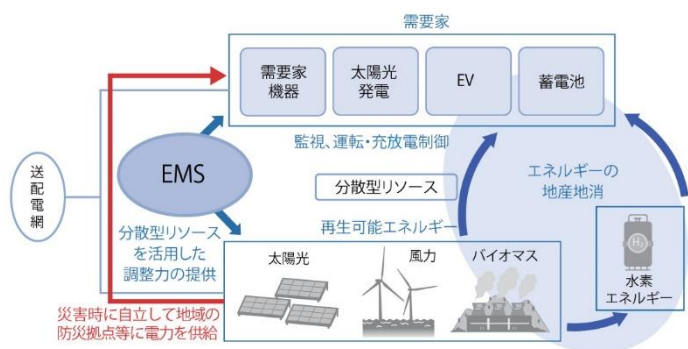


グループの役割

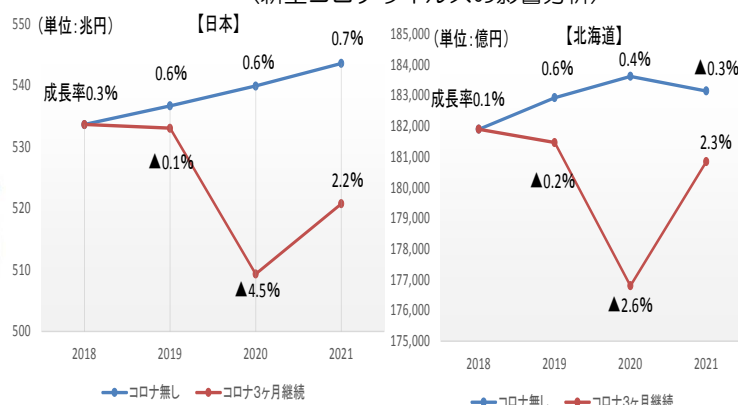
- ・次世代エネルギーシステムの構築に向けた取組み
- ・北海道の産業経済社会に関する調査・研究
- ・望ましい北海道の実現に向けた成長戦略の検討

至近の主な取組み

- ・自治体等の地域マイクログリッド構築の支援
- ・VPP 活用に関する調査・研究
- ・地域特性に合わせた地域エネルギーモデルの構築に関する調査・研究
- ・太陽光発電予測技術コンテスト『PV in HOKKAIDO』の開催
- ・マクロ計量モデルによる経済予測・シナリオシミュレーション
- ・道内各地域のエネルギー需要の分析・予測
- ・当社事業に関するお客様の意識調査



シナリオシミュレーション
〈新型コロナウイルスの影響分析〉



グループが保有するコア技術

- ・電力システムの運用、解析技術
- ・太陽光、風力発電等の発電量予測技術
- ・蓄エネルギー（水素、蓄電池）に関する知見
- ・マクロ経済分析、産業連関分析、事業性評価

¹ 仮想発電所（VPP：Virtual Power Plant）とは、分散型電源や電気自動車（EV）、蓄電池等を統合制御することで、「あたかも一つの発電所のように」コントロールを行い、調整力や供給力を創出する仕組みです。